

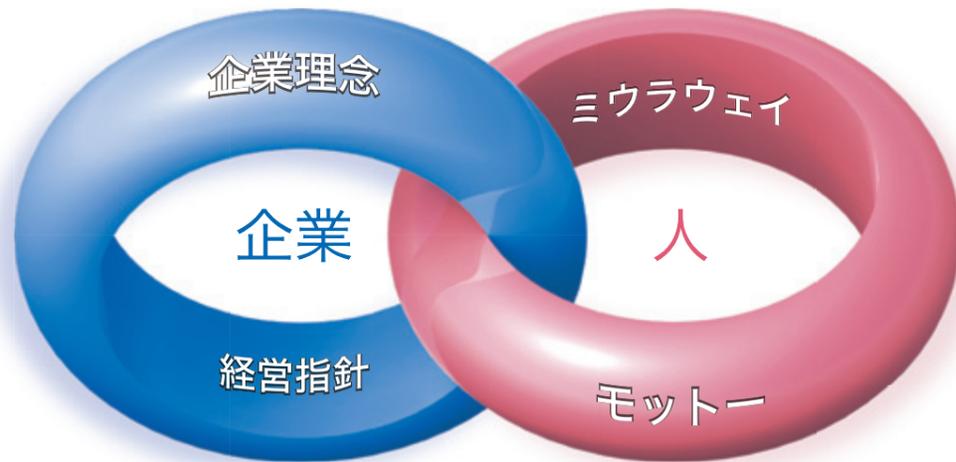
企業理念

熱・水・環境の分野で、
環境に優しい社会、
きれいで快適な生活の創造に
貢献します

ミウラグループ理念体系図

熱・水・環境の分野で、環境に優しい社会、
きれいで快適な生活の創造に貢献します

1. 創造と挑戦
2. 信頼と対話
3. 公平と公正



1. グループの総合力でグローバル化を推進する
2. テクノサービスで世界のベストパートナー企業を目指す
3. 社員の潜在能力が最大限発揮できる職場作りを目指す

『我々はわが社を最も働きがいのある、
最も働きやすい職場にしよう』

ミウラグループは、人と企業で成り立っています。熱いハートを持った私たち世界中のミウラの社員(人)を赤いリングで、企業であるミウラという意味を青いリングで表しています。そして、その2つのリングがしっかりつながることで、無限[∞]の可能性を表現しています。
私たち社員一人ひとり(人)とミウラ(企業)がしっかりつながることで、ミウラグループから無限のひらめきと愛を生み出しステークホルダーと価値を協創していきます。

ミウラグループ企業理念はウェブサイトでご覧いただけます。
<https://www.miuraz.co.jp/corporate/philosophy.html>



ひらめきと愛、というDNA

三浦保は企業人として、貫流ボイラの発展に一生を捧げ、そして「三浦工業」という会社をつくり上げました。一方、趣味や遊びにも情熱を注ぎ、多彩な表現の人でもありました。そのような日々の生き方は、今のミウラらしさの原点であり、挑戦や失敗を恐れず、仕事に厳しく人に優しいミウライズムとして受け継がれています。



創業者 三浦保が大切にしたい言葉

夢

「夢をもって仕事に取り組もう」

三浦保はロマンという言葉が好きだ。「社長は誰よりもロマンチストでなければならない」と語ったが、その言葉のうちに込められた想いは「夢をもって仕事に取り組もう。夢は目標であり、それを実現するのは創意と工夫、そして、あらゆる困難を克服していく積極的行動力だ」ということであった。

「愛は愛を生み、信は信を生む」という言葉に出会う

学生時代に出会ったこの言葉は、人生観に大きく影響を与え、この言葉は社会人になってからも使われ、三浦保特有の人間性を鮮やかに表している。また、「私は、信じた者に裏切られたことは、ただ一度もない」と、豪語してはばからなかった。

愛は愛を生み
信は信を生む

学勉

「学勉」という書を掲げ、教育元年を宣言

「勉強する心」を大切に思っており、社員教育には熱心だった。「日々の仕事を通じて、厳しい切磋琢磨から体得してゆくものが、血となり肉となって社員は成長する。当社の社員に停滞は許されない。死ぬまで知識の吸収と技術の研鑽に努め、生き活きとして“仕事師”であり続けてもらいたい。」と語っている。1987年には教育元年を宣言し、研修所に「学勉」という書を掲げた。

そして今も、「テクノサービス®」という
価値提供の考え方のなかに、
ミウライズムは受け継がれています

「テクノ」とはお客様に役立つ技術のことであり、「サービス」とは自分という人間がお客様に愛され、信頼されること。この2つが高いレベルで掛け合わさったものが「テクノサービス」であり、私たちが社員一丸となって提供していくものです。この考え方は、創業から連綿と受け継がれ、今も社員のなかに息づいています。

